

弥陀ヶ原火山噴火緊急減災対策砂防計画の 検討状況について

令和2年3月27日

北陸地方整備局 立山砂防事務所

弥陀ヶ原火山噴火緊急減災対策砂防計画の検討状況について

国土交通省では、平成19年4月に「火山噴火緊急減災対策砂防計画策定ガイドライン」を策定し、弥陀ヶ原を含む全国49の活火山において、いつどこで起こるか予測が難しい火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、ハード対策とソフト対策からなる緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）することを目的とした対策を講ずることとしています。

弥陀ヶ原においては、平成30年度に「弥陀ヶ原火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（委員長：京都大学防災研究所 教授 藤田正治）」を設置し、策定に向けて検討を進めています。

1. 平成30年度および令和元年度の検討状況

火山噴火に伴う土砂災害として、「**火山泥流**」、「**降灰後の土石流**」を対象とした、**緊急ハード対策**（汜濫防止施設・土石流捕捉施設等）、**ソフト対策**（火山/土砂移動の監視機器選定・配置等）、の検討を進めるため、以下のとおり開催した。

○第1回検討会：平成31年3月22日開催

- ・委員長選任
- ・弥陀ヶ原火山における現状と課題

○第2回検討会：令和元年9月17日開催

- ・合同現地調査（火山噴火影響範囲〔室堂および青木湖周辺等〕の現地確認）

○第3回検討会：令和2年3月13日開催延期

- ・新型コロナウイルス感染症対策により順延
- 第3回では、**対策計画の基本方針**および**緊急時に実施する対策**について、討議する予定。

2. 開催状況



第1回検討会



第2回検討会